

48-A-051 骨の構造で正しいのはどれか。

1. 皮質骨には骨梁がある。
2. 踵骨は海綿骨の部分が少ない。
3. 発育時の骨髄は赤色骨髄である。
4. 関節面は骨端軟骨で覆われている。
5. 骨は軟骨よりもプロテオグリカンを豊富に含む。

48-A-052 有頭骨と接していないのはどれか。

1. 舟状骨
2. 月状骨
3. 有鉤骨
4. 豆状骨
5. 小菱形骨

48-A-053 筋と支配神経の組合せで正しいのはどれか。

1. 前鋸筋——胸背神経
2. 僧帽筋——長胸神経
3. 鎖骨下筋——腋窩神経
4. 小胸筋——肩甲上神経
5. 肩甲挙筋——肩甲背神経

48-A-054 Papez 回路に含まれないのはどれか。

1. 海馬傍回
2. 視床前核
3. 縁上回
4. 乳頭体
5. 帯状回

48-A-055 下行性の神経線維が通るのはどれか。

1. 薄束
2. 錐体
3. 楔状束
4. 内側毛帯
5. 外側毛帯

48-A-056 側脳室に接しているのはどれか。

1. 黒質
2. 被殻
3. 淡蒼球
4. 尾状核
5. 扁桃体

48-A-057 脛骨神経支配でないのはどれか。

1. 膝窩筋
2. 足底筋
3. 腓腹筋
4. 前脛骨筋
5. ヒラメ筋

48-A-58 リンパの流れについて誤っているのはどれか。

1. 乳び槽は腸リンパ本幹と腰リンパ本幹が合流してできる。
2. 右リンパ本幹のリンパは右静脈角から静脈に流入する。
3. 右上肢からのリンパは右頭部からのリンパと合流する。
4. 右下肢からのリンパは右リンパ本幹に流入する。
5. 胸管のリンパは左静脈角から静脈に流入する。

48-A-059 呼吸器について正しいのはどれか。

1. 咽頭は C7～C8 の高さにある。
2. 輪状軟骨は弾性軟骨である。
3. 成人の喉頭から気管支までの距離は 20～25cm である。
4. 気管の延長線に対する気管支の分岐角度は右より左の方が大きい。
5. 終末細気管支は肺胞に開口する。

48-A-060 腎臓について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 右腎は左腎より高い位置にある。
2. 腎皮質は髄質に比べて薄紅白色を呈する。
3. 腎小体は腎皮質にある。
4. 尿細管はネフロンの構成要素である。
5. Henle 係蹄は腎小体にある。

48-A-061 細胞内小器官の役割について正しいのはどれか。

1. 中心小体はリソソームを形成する。
2. ミトコンドリアは ATP を合成する。
3. リボソームは膜の脂質成分を産生する。
4. ゴルジ装置は細胞分裂時に染色体を引き寄せる。
5. リボソームが付着しているのが滑面小胞体である。

48-A-062 骨格筋の収縮について正しいのはどれか。

1. 単収縮を加重させても収縮力は変化しない。
2. 筋線維の活動電位の持続時間は単収縮の持続時間よりも長い。
3. 電気刺激を与えた場合、単収縮に先行して活動電位が生じる。
4. 電気刺激で 1 秒間に 5～6 回の単収縮を起こすと強縮となる。
5. 単収縮の頻度が過剰になると完全強縮から不完全強縮に移行する。

48-A-063 Gerstmann 症候群の病巣として正しいのはどれか。

1. 上側頭回
2. 中心前回
3. 舌状回
4. 帯状回
5. 角回

48-A-064 安静時に比べ運動時に血液の分配量が増加するのはどれか。2 つ選べ。

1. 骨格筋
2. 消化管
3. 心 臓
4. 脾 臓
5. 腎 臓

48-A-065 咳反射について正しいのはどれか。

1. 肺胞の受容器刺激によって誘発される。
2. 吸気と呼気相の間に声門が閉鎖する。
3. カプサイシンの吸入で抑制される。
4. 反射の中樞は大脳皮質にある。
5. 流速はおよそ 1l/秒である。

48-A-066 生体の防御作用として B 細胞リンパ球が産生するのはどれか。

1. アセチルコリン
2. 興奮性アミノ酸
3. 免疫グロブリン
4. インターフェロン- γ
5. インターロイキン-2

48-A-067 排便機構で正しいのはどれか。

1. 排便中枢は第 10～12 胸髄に存在する。
2. 排便反射では外肛門括約筋が収縮する。
3. 下行結腸に便が貯留すると便意を生じる。
4. 胃大腸反射により結腸の蠕動運動が亢進する。
5. 副交感神経系は消化管運動に抑制的に作用する。

48-A-068 基礎代謝率について正しいのはどれか。

1. 発熱時には増大する。
2. 食物摂取後減少する。
3. 男性よりも女性で高い。
4. 加齢とともに増大する。
5. 不安感があると減少する。

48-A-069 同一平面内に働く力ベクトル F_1 と F_2 が同じ平面上の点 O の回りに作るモーメント M を表す式はどれか。ただし、 O からベクトル F_1 と F_2 の作用線に下ろした垂線の長さをそれぞれ a 、 b とする。

1. $M = F_1 + F_2$
2. $M = aF_1 + bF_2$
3. $M = (aF_1 + bF_2) / 2$
4. $M = (F_1 + F_2) / (a + b)$
5. $M = (F_1 + F_2) (a + b)$

48-A-070 肩関節の運動で正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 大胸筋胸肋部は内転に作用する。
2. 三角筋前部は外旋に作用する。
3. 棘上筋は内転に作用する。
4. 大円筋は外旋に作用する。
5. 小円筋は外旋に作用する。

48-A-071 立位姿勢で、頭上からバーベルを肩まで下ろす時に遠心性収縮となる筋はどれか。

1. 上腕二頭筋
2. 腕橈骨筋
3. 大菱形筋
4. 前鋸筋
5. 広背筋

48-A-072 足部の運動で正しいのはどれか。

1. 外がえしには長母指伸筋が関与する。
2. 後脛骨筋は立位で横アーチの維持に働く。
3. 距腿関節では足関節背屈位で内外転が可能である。
4. 内がえしの運動は第2趾の長軸を中心として生じる。
5. 踵腓靭帯は距骨下関節における外がえしを制限する。

48-A-073 安静立位姿勢における重心線の通る位置で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 耳垂の前方
2. 肩関節の前方
3. 大転子の前方
4. 膝蓋骨の後方
5. 外果の後方

48-A-074 健常成人が歩行速度を上げた場合の変化で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 歩隔の拡大
2. 歩行率の増加
3. 重複歩距離の増加
4. 両脚支持期の延長
5. 重心の左右移動の増加

48-A-075 疾患と病理学的変化の組合せで正しいのはどれか。

1. 多発性硬化症——脱髄
2. Binswanger 病——感染
3. Huntington 病——炎症
4. Creutzfeldt-Jakob 病——出血
5. Charcot-Marie-Tooth 病——虚血

48-A-076 重症筋無力症を合併することが多いのはどれか。

1. 肺 癌
2. 乳 癌
3. 中皮腫
4. 胸腺腫
5. 食道癌

48-A-077 ウイルスによる感染症はどれか。

1. トキソプラズマ症
2. ジフテリア
3. カンジダ症
4. トラコーマ
5. 帯状疱疹

48-A-078 くる病の症状でないのはどれか。

1. 低身長
2. 漏斗胸
3. 骨痛
4. 円背
5. O脚

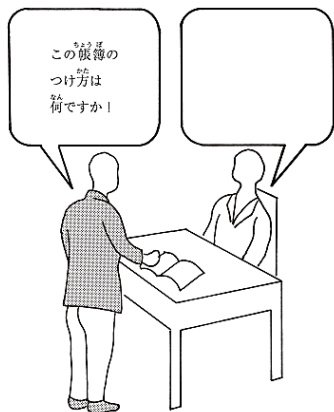
48-A-079 葛藤が麻痺や失声などの神経症状となって現れるのはどれか。

1. 解離
2. 昇華
3. 心気
4. 転換
5. 抑圧

48-A-080 Erikson による発達段階と獲得すべき課題の組合せで正しいのはどれか。

1. 学童期——親密
2. 青年期——生産性
3. 成人期——勤勉性
4. 中年期——同一性
5. 老年期——統合

48-A-081 図版を示す。これを用いる検査はどれか。
ただし、右の吹き出しは空欄である。



1. SCT
2. SDS
3. TEG
4. P-F スタディ
5. Bender Gestalt Test

48-A-082 国際生活機能分類 (ICF) で「活動」に含まれる項目はどれか。2つ選べ。

1. 入浴
2. 移乗
3. 嚥下
4. 呼吸機能
5. 関節可動域

48-A-083 脳性麻痺で正しいのはどれか。

1. アテトーゼ型では下肢より上肢の支持性が良い。
2. アテトーゼ型では初期は低緊張である。
3. 痙直型では出生直後から筋緊張が亢進する。
4. 痙直型両麻痺では下肢より上肢の麻痺が重度である。
5. 痙直型片麻痺では上肢より下肢の麻痺が重度である。

48-A-084 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 (バリアフリー新法) の内容に含まれていないのはどれか。

1. 介助犬の待機場所の確保
2. 車椅子使用者用の客室の設置
3. 車椅子使用者用の駐車場の確保
4. 車椅子と人がすれ違える廊下幅の確保
5. 目の不自由な人でも利用しやすいエレベーターの設置

48-A-085 腰部 MRI を示す。この画像で認められるのはどれか。

No. 5 (O 問題 85)



1. 骨粗鬆症
2. 腰椎圧迫骨折
3. 腰椎すべり症
4. 後縦靭帯骨化症
5. 椎間板ヘルニア

48-A-086 ワルファリンの作用を減弱させるのはどれか。

1. ヘパリン
2. 抗血小板薬
3. ビタミンK
4. ペニシリン系抗菌薬
5. 非ステロイド性抗炎症薬

48-A-087 ボツリヌス毒素を用いた治療で正しいのはどれか。

1. ボツリヌス毒素は前角細胞に作用する。
2. 痙縮のある筋に対して筋肉注射を行う。
3. 65 歳以上の高齢者には禁忌である。
4. 注射直後から最大効果を認める。
5. 効果持続は約 1 年間である。

48-A-088 変形性膝関節症で正しいのはどれか。

1. 外側型が多い。
2. 歩き始めは痛くない。
3. 女性よりも男性に多い。
4. 膝周囲筋の筋力強化は症状を改善させる。
5. 内側型には内側が高い楔状足底板が用いられる。

48-A-089 感覚障害を合併するのはどれか。2つ選べ。

1. 多発性硬化症
2. 重症筋無力症
3. 筋萎縮性側索硬化症
4. 肢帯型筋ジストロフィー
5. 慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー

48-A-090 重症筋無力症について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 筋電図検査において末梢神経の連続刺激で振幅の増大がみられる。
2. 抗アセチルコリン受容体抗体陽性率は10%である。
3. 症状の日内変動がある。
4. 嚥下障害の合併はない。
5. 眼瞼下垂がみられる。

48-A-091 慢性閉塞性肺疾患で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 喫煙は危険因子である。
2. 片肺に発症することが多い。
3. 静肺コンプライアンスが低下する。
4. 肺気腫は肺胞壁の破壊を特徴とする。
5. 肺の換気時の気道抵抗が低下している。

48-A-092 運動中に突然死するリスクが高い病態はどれか。

1. 肺動脈弁閉鎖不全症
2. 心房中隔欠損症
3. 大動脈弁狭窄症
4. 慢性心膜炎
5. 肺線維症

48-A-093 絞扼性イレウスの特徴はどれか。

1. 保存療法で治癒することが多い。
2. 腸管の血流障害を伴う。
3. 腹痛は軽度である。
4. 下血がみられる。
5. 結腸に好発する。

48-A-094 呼吸状態と病態の組合せで誤っているのはどれか。

1. Cheyne-Stokes (チェイン・ストークス) 呼吸——気管支喘息
2. Kussmaul (クスマウル) 呼吸——糖尿病性ケトアシドーシス
3. Biot (ビオー) 呼吸——髄膜炎
4. 下顎呼吸——脳幹障害
5. 起坐呼吸——心不全

48-A-095 老年症候群について誤っているのはどれか。

1. 虚弱な老人に特有の症候である。
2. ADLの阻害要因となる。
3. 活動性が低下しやすい。
4. 単一の原因で起こる。
5. 悪循環に陥る。

48-A-096 統合失調症について正しいのはどれか。

1. 前駆期から幻聴がみられる。
2. 慢性期に軽度の認知機能障害がみられる。
3. 家族の感情表出が少ないほど再発率は高くなる。
4. 発症から治療開始までの期間は予後と関連がない。
5. 急性期の治療で症状が軽快した場合は速やかに薬物治療を中止する。

48-A-097 疾患と病変の組合せで正しいのはどれか。

1. Lewy 小体型認知症——白質の病変
2. Alzheimer 型認知症——大脳皮質の老人斑
3. 血管性認知症——黒質の神経細胞脱落
4. 大脳皮質基底核変性症——運動ニューロン病変
5. 前頭側頭型認知症——大脳皮質の腫大神経細胞

48-A-098 雑踏の中で強い不安が生じ、その場所を避けるようになるのはどれか。

1. 適応障害
2. 解離性障害
3. 強迫性障害
4. 広場恐怖症
5. 社交恐怖症

48-A-099 見捨てられ不安を特徴とするのはどれか。

1. 演技性パーソナリティ障害
2. 境界性パーソナリティ障害
3. 強迫性パーソナリティ障害
4. 非社会性パーソナリティ障害
5. 統合失調質パーソナリティ障害

48-A-100 抗精神病薬を服用中の統合失調症患者。意識障害、37.5℃以上の発熱、発汗および身体のこわばりが出現した。最も考えられるのはどれか。

1. アカシジア
2. 悪性症候群
3. 急性ジストニア
4. 遅発性ジスキネジア
5. 薬剤性 Parkinson 症候群

48-P-051 顎関節の説明で正しいのはどれか。

1. 関節円板は存在しない。
2. 側頭筋は下顎骨を前方に引く。
3. 下顎骨が凹の関節面を形成する。
4. 開口に伴って下顎骨は前進する。
5. 咬筋は第一のてことして作用する。

48-P-052 二重神経支配の筋はどれか。

1. 薄筋
2. 大殿筋
3. 大内転筋
4. 大腿筋膜張筋
5. 大腿二頭筋長頭

48-P-053 前頭葉に含まれるのはどれか。2 つ選べ。

1. 角回
2. 紡錘状回
3. 中心前回
4. Broca 野
5. Wernicke 野

48-P-054 背部正中で皮膚と脊髄くも膜下腔との間にある組織はどれか。2 つ選べ。

1. 硬膜
2. 椎間板
3. 黄色靭帯
4. 前縦靭帯
5. 後縦靭帯

48-P-055 視覚の伝導路はどれか。

1. 外側膝状体
2. レンズ核
3. 放線冠
4. 脳弓
5. 下丘

48-P-056 大脳の中心後回にあるのはどれか。

1. 運動前野
2. 前頭眼野
3. 補足運動野
4. 第二次視覚野
5. 第一次体性感覚野

48-P-057 刺激の伝わる方向で正しいのはどれか。

1. 左脚→ヒス束
2. 右脚→房室結節
3. 洞房結節→房室結節
4. 心室心外膜側→心室心内膜側
5. 心室中隔右室側→心室中隔左室側

48-P-058 肝臓とその脈管系について誤っているのはどれか。

1. 肝臓は胃の前壁と接する。
2. 肝右葉は左葉より大きい。
3. 肝横隔面上縁は第5肋骨の高さにある。
4. 肝静脈は下大静脈に連なる。
5. 肝臓へ酸素を供給する血管は門脈である。

48-P-059 泌尿器について正しいのはどれか。

1. 尿管口は膀胱尖に開く。
2. 尿管内部には複数の逆流防止弁がある。
3. 排尿筋には大内臓神経が分布する。
4. 内尿道口は膀胱三角の中央に開く。
5. 男性の尿道は前立腺を貫いている。

48-P-060 視覚器で光の受容器があるのはどれか。

1. 角膜
2. 虹彩
3. 網膜
4. 毛様体
5. 硝子体

48-P-061 骨格筋の興奮収縮連関について正しいのはどれか。

1. 筋小胞体から Mg^{2+} が放出される。
2. 横行小管の中を Ca^{2+} が運搬される。
3. アクチンフィラメントの ATP が加水分解を生じる。
4. 筋線維膜の電位依存性 Na^{+} チャネルが開いて脱分極が生じる。
5. トロポニンが移動してミオシンフィラメントの結合部位が露出する。

48-P-062 末梢神経について正しいのはどれか。

1. A群は最も太い。
2. B群は無髄である。
3. C群は有髄である。
4. 交感神経節前線維はC群である。
5. 交感神経節後線維はB群である。

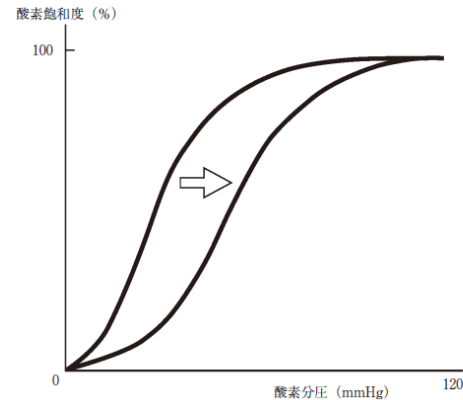
48-P-063 筋紡錘について正しいのはどれか。

1. 二次終末は核鎖線維に比べ核袋線維との結合が強い。
2. 手の虫様筋に比べ上腕二頭筋で高密度に存在する。
3. II群線維は筋紡錘の動的感受性を調整している。
4. Ia群線維は核袋線維からの求心線維である。
5. 錘内筋は α 運動ニューロンに支配される。

48-P-064 副交感神経が交感神経より優位に働いたときの反応はどれか。

1. 瞳孔散大
2. 排尿筋弛緩
3. 気管支収縮
4. 心拍数増加
5. 筋内血管拡張

48-P-065 ヘモグロビン酸素解離曲線を図に示す。矢印の方向に曲線を移動させる状態はどれか。2つ選べ。



1. 体温の下降
2. 激しい運動
3. 代謝性アルカローシス
4. 動脈血の二酸化炭素分圧の上昇
5. 血中 2, 3-DPG (ジフォスフォグリセリン酸) の濃度低下

48-P-066 血液について正しいのはどれか。

1. 血小板は脾臓で作られる。
2. 赤血球は pH 調節に関与する。
3. 白血球で最も多いのは好中球である。
4. エリスロポエチンは赤血球の破壊を促す。
5. 血漿成分にフィブリノゲンは含まれない。

48-P-067 内分泌物質の作用で正しいのはどれか。

1. パソプレシンは尿量増加に働く。
2. 上皮小体ホルモン血中 Ca を増加させる。
3. 甲状腺ホルモンは基礎代謝率を低下させる。
4. インスリンはグルコースの細胞内取り込みを阻害する。
5. 副腎皮質ホルモンは糖新生 (グルコース産生) を阻害する。

48-P-068 生理的老化について誤っているのはどれか。

1. 残気量が増加する。
2. 骨塩量が減少する。
3. 水晶体の蛋白変性が起こる。
4. 筋持久力より瞬発力が先に低下する。
5. 低い声より高い声の方が聞き取りやすい。

48-P-069 体重 60kg の人が速度 70m/分で平地を歩行した場合、80kcal エネルギーを消費するのに必要な歩行時間はどれか。ただし、酸素消費量 (ml/min/kg) = 歩行速度 (m/min) × 0.1 + 3.5 とする。

1. 5 分
2. 30 分
3. 60 分
4. 90 分
5. 120 分

48-P-070 母指 CM 関節の屈曲に作用しない筋はどれか。

1. 短母指外転筋
2. 短母指屈筋
3. 母指内転筋
4. 母指対立筋
5. 掌側骨間筋

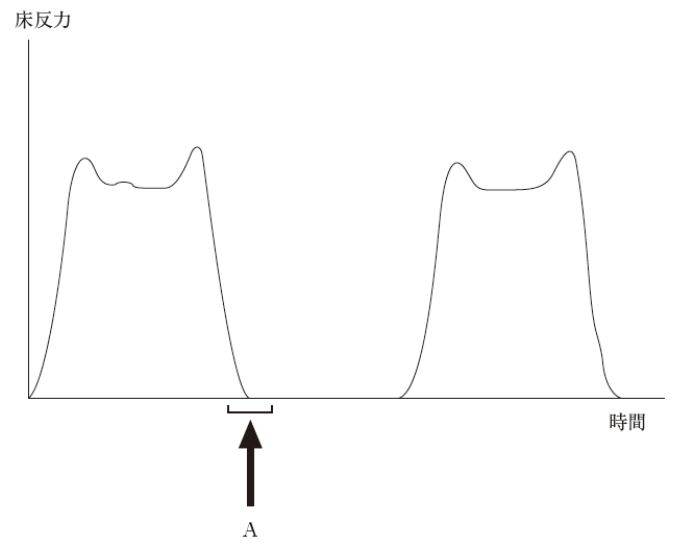
48-P-071 股関節の内旋運動に関与する筋はどれか。2つ選べ。

1. 小殿筋
2. 大殿筋
3. 縫工筋
4. 半膜様筋
5. 大腿二頭筋

48-P-072 関節可動域測定法（日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準による）の運動方向と移動軸の組合せで誤っているのはどれか。

1. 頸部の屈曲——外耳孔と頭頂を結ぶ線
2. 頸部の回旋——鼻梁と後頭結節を結ぶ線
3. 胸腰部の前屈——外耳孔と第 5 腰椎棘突起を結ぶ線
4. 胸腰部の回旋——両側の肩峰を結ぶ線
5. 胸腰部の側屈——第 1 胸椎棘突起と第 5 腰椎棘突起を結ぶ線

48-P-073 健常成人の歩行時の床反力の垂直分力（片側）を図に示す。床反力を計測している側の筋のうち、Aの時点で収縮力が増加するのはどれか。



1. 大殿筋
2. 中殿筋
3. 大腿二頭筋
4. 前脛骨筋
5. 腓腹筋

48-P-074 肩甲骨の下制に働かないのはどれか。

1. 広背筋
2. 小胸筋
3. 鎖骨下筋
4. 大菱形筋
5. 僧帽筋下部

48-P-075 深部静脈血栓症を起こしやすいのはどれか。

1. 人工膝関節置換術後
2. 橈骨遠位端骨折
3. 心房細動
4. 血友病
5. 高血圧

48-P-076 I型アレルギーはどれか。

1. 自己免疫性溶血性貧血
2. アナフィラキシー
3. ツベルクリン反応
4. ループス腎炎
5. 重症筋無力症

48-P-077 骨端症と発生部位についての組合せで正しいのはどれか。

1. Osgood-Schlatter 病——大腿骨頭
2. 第1Köhler 病——踵骨
3. Kienböck 病——月状骨
4. Perthes 病——脛骨粗面
5. Sever 病——足舟状骨

48-P-078 転移・逆転移で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 逆転移は治療者の生活史を反映する。
2. 陰性転移は患者理解の手がかりになる。
3. 陽性転移がみられたら治療者を交代する。
4. 行動化は患者が転移を意識したときに生じる。
5. 逆転移を認識したら患者にそのことを伝える。

48-P-079 構成課題を含む検査はどれか。2つ選べ。

1. MMPI
2. MMSE
3. HDS-R
4. Rorschach テスト
5. Kohs 立方体組み合せテスト

48-P-080 交流分析の自我状態で「現実的で合理的な行動」を表すのはどれか。

1. Critical Parent (批判的な親)
2. Nurturing Parent (養育的な親)
3. Adult (大人)
4. Free Child (自由な子供)
5. Adapted Child (順応する子供)

48-P-081 精神療法とその技法の組合せで正しいのはどれか。

1. 精神分析——あるがまま
2. 内観療法——自由連想法
3. 認知療法——自動思考
4. 箱庭療法——造園作業
5. 森田療法——身調べ

48-P-082 Duchenne 型筋ジストロフィーについて、厚生省筋萎縮研究班の機能障害度分類によるステージとリハビリテーションの内容の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. ステージ2—下腿三頭筋のストレッチ
2. ステージ3—下肢装具による歩行訓練
3. ステージ4—非侵襲的陽圧換気療法の開始
4. ステージ5—中殿筋の最大抵抗運動
5. ステージ6—座位保持装置による脊柱変形の予防

48-P-083 肩手症候群で正しいのはどれか。

1. 初期は疼痛を伴わない。
2. 末期に手指腫脹がみられる。
3. 初期に皮膚紅潮がみられる。
4. 慢性期の温熱療法は禁忌である。
5. 複合性局所疼痛症候群 (CRPS) II型である。

48-P-084 下肢切断について正しいのはどれか。

1. 大腿標準切断では股内転拘縮を生じやすい。
2. 下腿標準切断では外反膝を生じやすい。
3. Syme 切断では断端末に創を生じやすい。
4. Chopart 関節離断では足内反拘縮を生じやすい。
5. Lisfranc 切断では足外反変形を生じやすい。

48-P-085 病態とその治療薬の組合せで正しいのはどれか。

1. ジスキネジア——L-dopa
2. 重症筋無力症——コリンエステラーゼ阻害薬
3. 前立腺肥大症——抗コリン薬
4. 間質性肺炎——メトトレキサート
5. 消化管出血——アスピリン

48-P-086 熱傷について正しいのはどれか。

1. I度では皮膚の発赤をきたす。
2. 浅達性II度では肥厚性瘢痕を残す。
3. III度では強い痛みがある。
4. 小児の熱傷面積の概算には9の法則が用いられる。
5. 熱傷指数はI度とII度の面積から算出する。

48-P-087 小児に多い骨折はどれか。

1. 上腕骨近位端骨折
2. 上腕骨顆上骨折
3. 腰椎圧迫骨折
4. 大腿骨頸部骨折
5. 脛骨骨幹部骨折

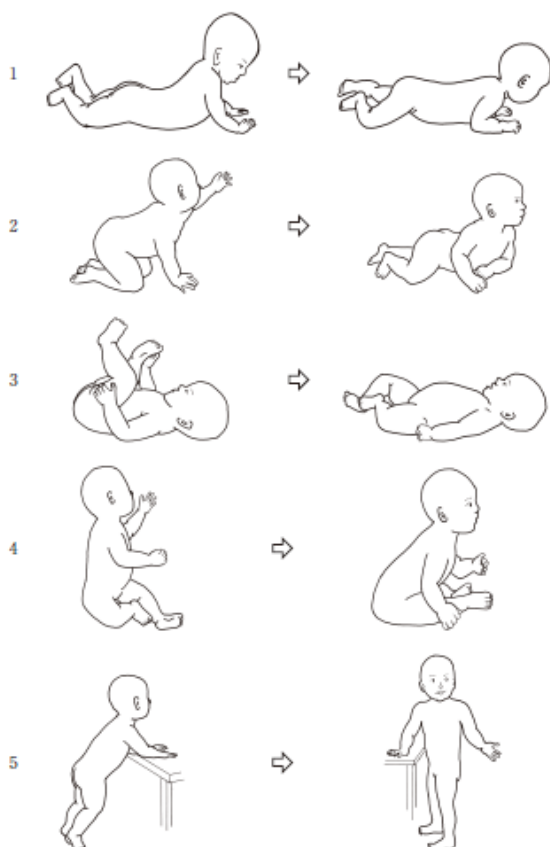
48-P-088 腰部脊柱管狭窄症で見られるのはどれか。

1. Trendelenburg 徴候
2. 下肢の腱反射亢進
3. 腰椎前弯増強
4. 間欠性跛行
5. 槌趾変形

48-P-089 絞扼性神経障害と障害される神経の組合せで正しいのはどれか。

1. 肘部管症候群——橈骨神経
2. 円回内筋症候群——尺骨神経
3. 手根管症候群——正中神経
4. 梨状筋症候群——外側大腿皮神経
5. 足根管症候群——総腓骨神経

48-P-090 姿勢発達の順序を矢印で示す。正しいのはどれか。



48-P-091 脈管疾患と関連因子の組合せで誤っているのはどれか。

1. Buerger 病——喫煙
2. 下腿静脈瘤——妊娠
3. 解離性大動脈瘤——アテローム硬化
4. 深部静脈血栓症——長期臥床
5. 結節性多発動脈炎——溶連菌感染症

48-P-092 急性膵炎の特徴はどれか。

1. 細菌感染が原因となる。
2. 尿アミラーゼが上昇する。
3. 膵癌を合併することが多い。
4. 糖尿病を合併することが多い。
5. 触診によって腫大した膵臓を触れる。

48-P-093 嚥下に関わる神経とその働きの組合せで正しいのはどれか。

1. 三叉神経——口唇閉鎖
2. 顔面神経——下顎の運動
3. 迷走神経——嚥下反射
4. 舌咽神経——舌の運動
5. 舌下神経——唾液分泌

48-P-094 慢性閉塞性肺疾患による呼吸性アシドーシスで腎性の代償が起こって、状態が安定している。基準値と比べた場合の動脈血液所見として正しいのはどれか。

1. pH：上昇
2. PaCO₂：下降
3. PaO₂：上昇
4. HCO₃⁻：上昇
5. SaO₂：上昇

48-P-095 高齢者にみられる特徴はどれか。

1. 男性における前立腺の萎縮
2. 卵胞刺激ホルモンの低下
3. 歩行開始時の心拍数減少
4. 前角細胞数の減少
5. 立位時の骨盤前傾

48-P-096 気分（感情）障害の特徴について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. うつ病は男性に多い。
2. うつ病の生涯有病率は約1%である。
3. 身体疾患を有する患者でうつ病の有病率が高い。
4. 双極性感情障害はうつ病より遺伝的素因の関与が強い。
5. 双極性感情障害はうつ病より平均初発年齢が高い。

48-P-097 虫や小動物の幻視が特徴的なのはどれか。

1. てんかん
2. 振戦せん妄
3. 統合失調症
4. Huntington病
5. ナルコレプシー

48-P-098 統合失調症の成因に関連がないのはどれか。

1. 遺伝素因
2. ドパミン仮説
3. アミロイド仮説
4. 神経発達障害仮説
5. 脆弱性 - ストレスモデル

48-P-099 神経性無食欲症について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 骨密度は増加する。
2. 消化管の吸収不全がある。
3. 食物に対する関心は低下する。
4. 自ら誘発する嘔吐がみられる。
5. ボディイメージのゆがみがある。

48-P-100 てんかんで知的障害を伴うのはどれか。

1. 側頭葉てんかん
2. Jackson てんかん
3. 小児欠神てんかん
4. 覚醒時大発作てんかん
5. Lennox-Gastaut 症候群